

学び続ける教師コミュニティ

2021 夏 教育実践福島ラウンドテーブル

2021

8・21日(土)

—10:00~16:00—

オンライン(Zoom)開催



今日、福島県の教育には、「ふくしまの未来を創造する子どもたちの育成」が求められています。こうした中、教員を目指す学生や教職員には、地域と世界に視野を広げつつ、すべての子どもの成長や学習に目を向け、対話と省察を重ねながら、実践に裏打ちされた自らの教育理論を構築することが重要になります。

このため、福島大学大学院人間発達文化研究科では、福島県教育委員会との共催により、全県的な「教育実践福島ラウンドテーブル」を年2回開催し、院生の報告等をもとに教育関係者(教育委員会、管理職、一般教員、大学教員、保護者・市民等)と交流し、実践上の成果だけでなく悩み等を話し合い、県全体の教育力向上を図るとともに、「学び続ける教師コミュニティ」を創ってきました(写真:2019 夏ラウンドテーブル)。

今回(2021夏)は、新型コロナウイルス感染拡大防止ため、前回に引き続きZoomでのオンライン開催といたしました。初めての方でも自宅でも気軽に参加できますので、多くの方の参加をお待ちしています。

なお、次回(2022春)は、2月19日(土)の開催予定です(開催方法は検討中)。

主催 福島大学大学院人間発達文化研究科

共催 福島県教育委員会

後援 福島県市町村教育委員会連絡協議会 福島県都市教育長協議会 福島県町村教育長協議会 福島県小学校長会 福島県中学校長会 福島県高等学校長協会 福島県特別支援学校長会 福島県国公立幼稚園・こども園協議会 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会 福島県私立中学高等学校協会 福島県公立学校退職校長会 福島県PTA連合会 福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会

【午前の部】 全体 (事前に午前の部の会場 URL をお送りします。9:30 から開場しています。)

10:00~10:10

主催者挨拶 初澤 敏生(福島大学人間発達文化研究科長)

10:10~12:00

基調講演 「道徳教育マネジメント—道徳科を要とした道徳教育の改善・充実—」



講師 赤堀 博行 先生(帝京大学大学院教職研究科教授)

【研究領域】道徳教育 教育課程 生徒指導 など

【主な経歴】 文部科学省初等中等教育局教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官(2007~2015年)、東京都教育庁指導部主任指導主事(~2007年)、文部科学省小学校学習指導要領解説道徳編作成協力者(2006~2008年)等歴任

【主な著書】「道徳的価値の見方・考え方」(東洋館出版 2021年)

「特別の教科道徳で大切なこと」(東洋館出版 2017年)

「これからの道徳教育と道徳科の展望」(東洋館出版 2016年)

「子どもを幸せにする「道徳科」」(小学館 2017年)

「心を育てる要の道徳授業」(ぶんけい 2010年)

「道徳授業の発問構成」(教育出版 2013年)

「道徳授業の定石辞典」(明治図書 2012年) 他多数

【講演概要】

道徳教育は、2015年の学校教育法施行規則及び小学校学習指導要領等の一部を改正により、週1時間の道徳授業を要として学校の教育活動全体を通じて行うことを基本として他教科に先駆けて全面実施された。道徳教育の充実、各学校のカリキュラム・マネジメント力によるところが大きい。そこで、各学校の道徳教育の改善・充実に資するため、道徳教育及び道徳科の特質を確認し、これらの具体的な展開を考える。



12:00～13:00

昼食・休憩(参加者各自の計画で・・・)

【午後の部】グループごとに

(6人程度のグループに分かれます。事前に参加するグループの URL をお送りします。なお、終了はグループごとになります。)

13:00～16:00 ラウンドテーブル

「教育実践福島ラウンドテーブル」は、福島大学教職大学院生や県内外の国公立保育所・幼稚園・認定こども園、小・中・高等学校、特別支援学校、教育委員会等に勤める教職員、さらには、保護者や市民等が、それぞれの立場による実践や悩み等を交流する場を提供する「学びのコミュニティ」です。日々の教育活動や課題、悩み等について自由に語り合います。

今回は Zoom で少人数グループの会場に分かれ、教職大学院生の報告や参加者の実践等をもとに交流を深めます。

ラウンドテーブルの魅力

～ 参加された方々の感想:参加者アンケートから ～

○ 前回(2021春2月開催)の参加者アンケート(回答数 113 人:回答率 69.75%)の概要をお知らせします。

- ① 4段階評価:「大変良かった」:85.8%、「良かった」:14.2%となり、初めてのオンライン開催でしたが、これまでと同様に高い評価をいただきました。



② 教育復興シンポジウムについて

地域と学校を結ぶ教育実践例を知ることができ、これからの教育実践に生かす大変貴重な話を聴くことができました。一部の地域のみならず、すべての地域で取り組んでいく必要があると感じました。そのためにも、まずは所属している地域を知ることが、第一歩であると思いました。まずは一歩を踏み出してみようと思います。ありがとうございました。(写真:2019 夏シンポジウム)

③ ラウンドテーブルについて

- 参加された方々の思いを具体的に引き出し、それをつながげながら、それぞれの思いや課題に応じて解釈していただくには、やはり対面のよさを感じてはしまいがちですが、オンラインによる不自由さをほとんど感じる事がなく、3 時間を過ごすことができました。参加者の幅が広く(学生、学校教員、学校職員、教育行政職員、大学教員)、それぞれの立場からの感想や意見には、まさに多様性があり、学ぶことが大でした。

④ オンライン参加について

- このように様々な所属の先生方などが集まり、テーマをもって話し合う機会はとても大切だと思います。初めて参加しましたが、特に若い先生方に参加をすすめてみたいと思いました。面と向かっての話し合いが一番だとは思いますが、オンラインによる開催だと移動時間を気にせずに参加しやすいという面があるのではないかと考えます。特に、福島から遠くに勤務している先生にとっては、オンライン開催はありがたいと思います(写真:2021 春 Zoom オンライン開催)。



報告者募集!

(ミニレポート報告)

- 普段取り組んでいることや悩み、疑問など、グループ協議の中で実践報告として話題を提供してくださる方を募ります。報告資料は、ペーパー1枚程度の簡単なものでも結構です。報告資料の取り扱いについては、後日お知らせします。
- 当日は、本学の院生24名も、これまでの学びの道のりを報告します。

◇ 参加申し込み方法 ◇

本学の人間発達文化学類 Web ページ(<http://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp>)の「2021夏 教育実践福島ラウンドテーブル」の申し込みフォームから、2021年8月3日(火)までにお申し込みください。

ご不明な点は、お問い合わせ先にご連絡ください。QRコードから Web サイトにアクセスできます。



* 今回はZoomによる開催となります。

事前に参加方法についてお知らせしますので、**メールアドレスを必ず記載**願います。安心して気軽にご参加ください。

【お問い合わせ先】

福島大学人間発達文化学類支援室
TEL 024-548-8103 FAX 024-548-3181
Mail ningen@adb.fukushima-u.ac.jp